

令和5年度

収支決算書

令和5年4月1日

～

令和6年3月31日

一般財団法人**省エネルギーセンター**

概 況

近時エネルギーを巡っては、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やイスラエル・パレスチナ情勢の深刻化等の影響により化石燃料等の国際需給に係る不透明感が増しています。一方、世界各地で発生した異常気象により地球温暖化への懸念が一層高まっていることから、2050年の「カーボンニュートラル」実現に向けた対応が「待ったなし」となっています。

こうした難しい状況に適切に対応していくためには、政府が主導する「GX（グリーントランスフォーメーション）」により、化石エネルギー中心の産業構造・社会構造を再エネや原子力発電等の活用を通じてクリーンエネルギー中心に転換していくとともに、「徹底した省エネ」、電力化、電力デマンド調整等を進める必要があります。

また、その意味で、令和5年4月から施行された改正省エネ法に基づき、非化石エネルギーへの転換等を促進するとともに、この非化石エネルギーを含むエネルギー全体の使用合理化を徹底していくことが重要となります。

当センターといたしましても、このようなニーズを「省エネを中心とするエネルギー利用の最適化」と捉え、国内外における活動を拡充・強化していくこととしています。

かかる方針のもと、令和5年度においても事業計画を踏まえつつ、以下のように政策協力、情報発信、支援サービス、人材育成、国際協力等の活動に注力しました。

I. エネルギー利用の最適化等に向けた政策への協力

中小企業等においてエネルギー利用の最適化を推進するため、専門家による診断サービス等を提供するとともに、地域において関係機関等との連携を図りました。

また、省エネ法等の円滑な執行や計画的なCO2削減対応への支援等を実施しました。

II. 省エネ関連情報の発信

「徹底した省エネ」やカーボンニュートラルに向けた産業・業務・家庭等あらゆる分野の活動を支援するため、「省エネ大賞」、「ENEX2024」、Webサイト等の媒体を通じて、先進的な製品、技術・ノウハウ、ビジネスモデル、活動事例、関連政策等について有益な情報を発信しました。

III. カーボンニュートラルに向けた支援サービスの提供

カーボンニュートラルを念頭に行う企業等のエネルギー管理活動を支援するため、体制整備や計画策定への助言、ソリューションの提案等を行いました。また、当該活動における中核人材等を育成するため、オンライン等も活用しつつ教育事業や資格認定を実施しました。

IV. 省エネ関連国際協力・ビジネス交流の推進

エネルギー需要や温室効果ガスが増大している新興国等においてカーボンニュートラルに向けた活動が促進されるよう、我が国の優れた省エネ・再エネ技術や関連政策・制度を国際協力により効果的に普及しました。

また、官民一体となって設立された「世界省エネルギー等ビジネス推進協議会」と連携して、省エネ関連の国際ビジネス交流を支援しました。

V. 国家試験等の円滑な実施

省エネ法に基づくエネルギー管理者、エネルギー管理企画推進者及びエネルギー管理員に係る資格に関し、オンライン等も一部活用しつつ、所定の試験・研修・講習を円滑かつ厳正に実施しました。

その際には、国からの補助・受託事業については政策意図に沿った実施に努めるとともに、当センター独自事業については新たなニーズ等も踏まえてその充実を図ることを通じて、事業効果の最大化と財務基盤の強化を両立するよう注力しました。

なお、公益法人から移行した一般財団法人として、令和5年度も公益目的支出計画の着実な実行を図りました。

収 支 決 算 書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預貯金	117,932,902	102,534,072	15,398,830
未収金	787,911,367	753,759,132	34,152,235
未収利息	1,492,106	1,479,801	12,305
売掛金	6,319,770	7,552,703	△ 1,232,933
商品	2,019,600	1,538,011	481,589
製品	5,296,019	5,485,186	△ 189,167
仕掛品	7,968,613	15,747,059	△ 7,778,446
貯蔵品	228,442	281,494	△ 53,052
前払金	17,711,915	16,990,582	721,333
流動資産 合計	946,880,734	905,368,040	41,512,694
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	248,950,385	248,876,878	73,507
定期預金	226,049,615	226,123,122	△ 73,507
基本財産 合計	475,000,000	475,000,000	0
(2) 特定資産			
運営強化等積立資産	1,788,889,214	1,737,171,494	51,717,720
退職給付積立資産	142,215,600	131,530,000	10,685,600
特定資産 合計	1,931,104,814	1,868,701,494	62,403,320
(3) その他の固定資産			
造 作	5,058,241	6,021,364	△ 963,123
什器備品	454,564	394,636	59,928
機械装置	1,624,230	3,237,075	△ 1,612,845
ソフトウェア	9	9	0
電話加入権	2,841,592	2,841,592	0
保証金	50,740,036	52,044,306	△ 1,304,270
長期前払費用	800,646	1,133,934	△ 333,288
その他の固定資産合計	61,519,318	65,672,916	△ 4,153,598
固定資産 合計	2,467,624,132	2,409,374,410	58,249,722
資産 合計	3,414,504,866	3,314,742,450	99,762,416
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	500,000,000	500,000,000	0
未払金	178,959,836	141,354,282	37,605,554
会費前受金	58,299,010	59,449,010	△ 1,150,000
前受金	12,672,570	12,540,000	132,570
預り金	8,491,913	8,535,303	△ 43,390
賞与引当金	10,458,687	9,644,325	814,362
流動負債 合計	768,882,016	731,522,920	37,359,096
2. 固定負債			
退職給付引当金	142,215,600	131,530,000	10,685,600
固定負債 合計	142,215,600	131,530,000	10,685,600
負債 合計	911,097,616	863,052,920	48,044,696
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間補助金	375,000,000	375,000,000	0
民間寄付金	325,000,000	325,000,000	0
指定正味財産 合計	700,000,000	700,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(475,000,000)	(475,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(225,000,000)	(225,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	1,803,407,250	1,751,689,530	51,717,720
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,563,889,214)	(1,512,171,494)	(51,717,720)
正味財産合計	2,503,407,250	2,451,689,530	51,717,720
負債及び正味財産合計	3,414,504,866	3,314,742,450	99,762,416

注)実施事業資産は、以下のとおりである。

未収金 711,570,116円

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	2,354,077	2,352,513	1,564
② 特定資産運用益	4,999,646	4,988,890	10,756
③ 賛助会費	140,450,500	142,873,000	△ 2,422,500
④ 事業収益	629,701,250	586,593,089	43,108,161
試験・講習事業収益	402,685,150	405,638,500	△ 2,953,350
出版事業収益	65,753,667	64,404,297	1,349,370
通信教育・講座等事業収益	50,065,634	48,888,084	1,177,550
その他事業収益	111,196,799	67,662,208	43,534,591
⑤ 受取補助金等収益	1,321,284,399	1,314,933,425	6,350,974
国庫等補助金収益	405,860,026	456,806,799	△ 50,946,773
受託収益	915,424,373	858,126,626	57,297,747
⑥ 雑収益	2,894,981	7,281	2,887,700
受取利息	6,581	7,281	△ 700
雑収益	2,888,400	0	2,888,400
経常収益計	2,101,684,853	2,051,748,198	49,936,655
(2) 経常費用			
① 事業費	1,942,943,072	1,951,171,394	△ 8,228,322
給与手当等	540,107,256	575,524,982	△ 35,417,726
臨時雇用員費	419,819,968	402,936,609	16,883,359
旅費交通費	111,419,199	94,490,644	16,928,555
機器賃借料	12,293,263	33,069,127	△ 20,775,864
諸謝金	132,903,920	175,763,933	△ 42,860,013
会場費	91,757,705	95,083,426	△ 3,325,721
印刷製本費	61,243,364	54,208,291	7,035,073
外注委託費	182,839,055	149,380,562	33,458,493
その他事業費	390,559,342	370,713,820	19,845,522
② 管理費	107,024,061	94,475,994	12,548,067
給与手当等	85,468,918	68,755,664	16,713,254
臨時雇用員費	13,500,120	12,728,542	771,578
減価償却費	3,639,510	4,478,804	△ 839,294
事務所等賃借料	125,545,769	115,447,269	10,098,500
租税公課	75,196,311	54,641,575	20,554,736
短期借入金利息	116,712	99,726	16,986
その他事務費	53,735,244	51,687,016	2,048,228
事業費への事務費振替額	△ 250,178,523	△ 213,362,602	△ 36,815,921
経常費用計	2,049,967,133	2,045,647,388	4,319,745
当期経常増減額	51,717,720	6,100,810	45,616,910
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	51,717,720	6,100,810	45,616,910
一般正味財産期首残高	1,751,689,530	1,745,588,720	6,100,810
一般正味財産期末残高	1,803,407,250	1,751,689,530	51,717,720
II 指定正味財産増減の部			
1. 基本財産運用益			
投資有価証券利息	2,354,077	2,352,513	1,564
2. 特定資産運用益			
投資有価証券利息	863,742	861,855	1,887
3. 一般正味財産への振替額	△ 3,217,819	△ 3,214,368	△ 3,451
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	700,000,000	700,000,000	0
指定正味財産期末残高	700,000,000	700,000,000	0
III 正味財産期末残高	2,503,407,250	2,451,689,530	51,717,720

科目	実施事業等会計							その他会計							法人会計	合計		
	継続-1	継続-2	継続-3	継続-4	継続-5	共通	小計	その他-1	その他-2	その他-3	その他-4	その他-5	その他-6	小計				
	産業における省エネ キ-政策推進事業	家庭、地域等にお ける省エネキ-政策 推進事業	国際協力・活動政 策の推進事業	省エネ大賞表彰事 業	エネキ-管理士試 験・講習関連調査 事業			産業における省エネ キ-推進事業	家庭、地域等にお ける省エネキ-推進 事業	省エネキ-関連人材 の育成推進事業	エネキ-管理士試 験・講習事業	国際協力・活動の 推進事業	その他事業					
I 一般正味財産増減の部																		
1、経常増減の部																		
(1)経常収益																		
①基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,354,077	2,354,077
②特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,999,646	4,999,646
③賛助会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,450,500	140,450,500
④事業収益	8,161,571	0	0	34,512,614	0	0	42,674,185	17,741,768	34,928,719	51,931,461	402,685,150	385,986	79,353,981	587,027,065	0	629,701,250	402,685,150	
試験・講習事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	402,685,150	0	0	402,685,150	0	402,685,150	0	
出版事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65,753,667	65,753,667	0	65,753,667	0	
通信教育・講座等事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,065,634	0	0	0	50,065,634	0	50,065,634	0	
その他事業収益	8,161,571	0	0	34,512,614	0	0	42,674,185	17,741,768	34,928,719	1,865,827	0	385,986	13,600,314	68,522,614	0	111,196,799	0	
⑤受取補助金等収益	519,573,273	251,764,854	402,000,299	0	0	0	1,173,338,426	82,716,678	10,168,760	17,308,462	0	11,841,088	25,910,985	147,945,973	0	1,321,284,399	0	
国庫等補助金収益	405,860,026	0	0	0	0	0	405,860,026	0	0	0	0	0	0	0	0	405,860,026	0	
受託収益	113,713,247	251,764,854	402,000,299	0	0	0	767,478,400	82,716,678	10,168,760	17,308,462	0	11,841,088	25,910,985	147,945,973	0	915,424,373	0	
⑥雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,894,981	2,894,981	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,581	6,581	
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,888,400	2,888,400	
経常収益計	527,734,844	251,764,854	402,000,299	34,512,614	0	0	1,216,012,611	100,458,446	45,097,479	69,239,923	402,685,150	12,227,074	105,264,966	734,973,038	150,699,204	2,101,684,853	0	
(2)経常費用																		
①事業費	575,288,210	269,112,457	422,564,804	36,278,057	269,722	0	1,303,513,250	62,480,479	28,094,558	62,365,003	355,377,620	7,510,772	123,601,390	639,429,822	0	1,942,943,072	0	
給与手当等	165,173,230	118,074,330	102,025,004	13,563,871	173,799	0	399,010,234	20,704,837	12,615,114	22,432,658	68,913,856	582,241	15,848,316	141,097,022	0	540,107,256	0	
臨時雇用員費	154,501,588	58,445,858	98,216,380	250,760	0	0	311,414,586	11,763,213	5,386,327	11,045,255	68,970,613	2,908,431	8,331,543	108,405,382	0	419,819,968	0	
旅費交通費	21,512,231	173,636	75,176,131	3,034,908	0	0	99,896,906	3,912,187	801,686	1,440,611	2,762,916	945,082	1,659,811	11,522,293	0	111,419,199	0	
機器賃貸料	2,558,591	0	5,050,632	64,808	0	0	7,674,031	258,379	0	467,286	3,595,503	287,980	10,084	4,619,232	0	12,293,263	0	
諸謝金	90,055,560	1,179,380	590,082	2,860,924	0	0	94,685,946	4,435,170	1,096,910	2,196,122	21,436,712	301,710	8,751,350	38,217,974	0	132,903,920	0	
会場費	1,464,413	1,463,990	28,058,157	1,380,080	0	0	32,366,640	0	0	1,620,386	57,401,469	0	369,210	59,391,065	0	91,757,705	0	
印刷製本費	7,840,827	58,307	5,937,565	1,707,172	0	0	15,543,871	0	575,031	865,686	31,604,271	889,272	11,765,233	45,699,493	0	61,243,364	0	
外注委託費	18,802,416	43,480,109	36,454,595	1,105,406	0	0	99,842,526	5,929,208	1,007,789	8,193,720	14,720,682	0	53,145,130	82,996,529	0	182,839,055	0	
その他事業費	113,379,354	46,236,847	71,056,258	12,310,128	95,923	0	243,078,510	15,477,485	6,611,701	14,103,279	85,971,598	1,596,056	23,720,713	147,480,832	0	390,559,342	0	
②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107,024,061	107,024,061	0	
給与手当等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85,468,918	85,468,918	0	
臨時雇用員費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,500,120	13,500,120	0	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,639,510	3,639,510	0	
事務所等賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,545,769	125,545,769	0	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75,196,311	75,196,311	0	
短期借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	116,712	116,712	0	
その他事務費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,735,244	53,735,244	0	
事業費への事務費振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 250,178,523	△ 250,178,523	0	
経常費用計	575,288,210	269,112,457	422,564,804	36,278,057	269,722	0	1,303,513,250	62,480,479	28,094,558	62,365,003	355,377,620	7,510,772	123,601,390	639,429,822	107,024,061	2,049,967,133	0	
当期経常増減額	△ 47,553,366	△ 17,347,603	△ 20,564,505	△ 1,765,443	△ 269,722	0	△ 87,500,639	37,977,967	17,002,921	6,874,920	47,307,530	4,716,302	△ 18,336,424	95,543,216	43,675,143	51,717,720	0	
2、経常外増減の部																		
(1)経常外収益																		
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1)経常外費用																		
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 47,553,366	△ 17,347,603	△ 20,564,505	△ 1,765,443	△ 269,722	0	△ 87,500,639	37,977,967	17,002,921	6,874,920	47,307,530	4,716,302	△ 18,336,424	95,543,216	43,675,143	51,717,720	0	
一般正味財産期首残高	△ 593,302,183	△ 131,706,875	△ 227,517,263	△ 39,009,679	△ 25,487,243	1,519,032,148	502,008,905	322,726,673	99,551,810	△ 8,331,137	602,508,545	125,812,719	△ 391,457,645	750,810,965	498,869,660	1,751,689,530	0	
一般正味財産期末残高	△ 640,855,549	△ 149,054,478	△ 248,081,768	△ 40,775,122	△ 25,756,965	1,519,032,148	414,508,266	360,704,640	116,554,731	△ 1,456,217	649,816,075	130,529,021	△ 409,794,069	846,354,181	542,544,803	1,803,407,250	0	
II 指定正味財産増減の部																		
1、基本財産運用益																		
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,354,077	2,354,077	0	
2、特定資産運用益																		
投資有価証券利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	863,742	863,742	0	
3、一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 3,217,819	△ 3,217,819	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	700,000,000	700,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	700,000,000	0	
III 正味財産期末残高	△ 640,855,549	△ 149,054,478	△ 248,081,768	△ 40,775,122	△ 25,756,965	2,219,032,148	1,114,508,266	360,704,640	116,554,731	△ 1,456,217	649,816,075	130,529,021	△ 409,794,069	846,354,181	542,544,803	2,503,407,250	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	248,876,878	73,507	0	248,950,385
	定期預金	226,123,122	0	73,507	226,049,615
	基本財産計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産	運営強化等積立資産	1,737,171,494	51,717,720	0	1,788,889,214
	退職給付引当資産	131,530,000	10,685,600	0	142,215,600
	特定資産計	1,868,701,494	62,403,320	0	1,931,104,814

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	9,644,325	10,458,687	9,644,325	0	10,458,687
退職給付引当金	131,530,000	10,685,600	0	0	142,215,600

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

当該事業年度は、「公益法人会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)」を採用している。

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券 個別法による償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
①製品、仕掛品 個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
②商品、貯蔵品 最終仕入原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
①有形固定資産（リース資産を除く）
イ. 造作 定額法
ロ. 造作以外の有形固定資産 定率法
②無形固定資産（リース資産を除く）
ソフトウェア（自社利用分） 定額法（5年間）
③リース資産
所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却の方法と同一の方法
- (4) 引当金の計上基準
①貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上している。
②賞与引当金 職員への賞与の支払いに備えるため、支給見込額のうち当期に属する額を計上している。
③退職給付引当金 役員及び職員の退職給付に備えるため、当期末における期末要支給額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 : 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	248,876,878	73,507	0	248,950,385
定期預金	226,123,122	0	73,507	226,049,615
小 計	475,000,000	73,507	73,507	475,000,000
特定資産				
運営強化等積立資産	1,737,171,494	51,717,720	0	1,788,889,214
退職給付積立資産	131,530,000	10,685,600	0	142,215,600
小 計	1,868,701,494	62,403,320	0	1,931,104,814
合 計	2,343,701,494	62,476,827	73,507	2,406,104,814

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	248,950,385	(248,950,385)	(0)	(0)
定期預金	226,049,615	(226,049,615)	(0)	(0)
小 計	475,000,000	(475,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
運営強化等積立資産	1,788,889,214	(225,000,000)	(1,563,889,214)	(0)
退職給付積立資産	142,215,600	(0)	(0)	(142,215,600)
小 計	1,931,104,814	(225,000,000)	(1,563,889,214)	(142,215,600)
合 計	2,406,104,814	(700,000,000)	(1,563,889,214)	(142,215,600)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
造作	28,932,573	23,874,332	5,058,241
什器備品	27,658,041	27,203,477	454,564
機械装置	16,349,432	14,725,202	1,624,230
合 計	72,940,046	65,803,011	7,137,035

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
基本財産			
第8回利付国債(H27.12.22取得)	49,801,110	45,435,000	△ 4,366,110
第267回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.1.26取得)	99,880,514	99,820,000	△ 60,514
第57回地方公共団体金融機構債券(H29.3.14取得)	99,268,761	94,040,600	△ 5,228,161
特定資産			
第519回中部電力社債(H29.2.24取得)	99,726,532	93,060,000	△ 6,666,532
第159回利付国債(H29.3.13取得)	9,932,439	9,564,780	△ 367,659
第78回利付国債(H17.6.16取得)	73,000,000	74,642,500	1,642,500
第78回利付国債(H18.1.18取得)	26,986,458	27,607,500	621,042
第8回利付国債(H27.12.21取得)	59,880,196	54,523,200	△ 5,356,996
第237回日本高速道路保有・債務返済機構債券(H28.3.16取得)	210,333,482	201,980,000	△ 8,353,482
第517回東北電力社債(グリーンボンド)(R2.2.27取得)	100,000,000	97,230,000	△ 2,770,000
合 計	828,809,492	797,903,580	△ 30,905,912

※ グリーンボンド：資金用途を環境改善効果のある事業に限定した債券

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助事業						
・令和5年度中小企業等に対するエネルギー利用最適化推進事業費補助金	経済産業省	0	401,273,759	401,273,759	0	—
・令和4年度補正予算 中小企業等に向けた省エネルギー診断拡充事業費補助金	経済産業省	0	4,586,267	4,586,267	0	—
小計		0	405,860,026	405,860,026	0	
受託事業						
・令和5年度エネルギー需給構造高度化対策調査等事業	経済産業省	0	83,732,597	83,732,597	0	—
・令和5年度省エネルギー促進広報事業	経済産業省	0	29,980,650	29,980,650	0	—
・令和5年度新興国等脱炭素化・エネルギー転換事業	経済産業省	0	402,000,299	402,000,299	0	—
・令和4年度(補正)工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業に係る制度運営支援委託業務	環境省	0	102,085,500	102,085,500	0	—
・令和5年度工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業に係る制度運営支援委託業務	環境省	0	142,312,500	142,312,500	0	—
・令和5年度環境技術実証事業 大気環境保全技術領域・気候変動対策技術領域実証機関業務	環境省	0	7,366,854	7,366,854	0	—
・その他受託事業	東京都ほか	0	147,945,973	147,945,973	0	—
小計		0	915,424,373	915,424,373	0	
合 計		0	1,321,284,399	1,321,284,399	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	2,354,077
特定資産受取利息の振替額	863,742
合 計	3,217,819

8. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	142,215,600
退職給付引当金	142,215,600

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	10,685,600
退職給付費用	10,685,600

(注)退職給付費用10,685,600円は、事業費の「給与手当等」に4,281,600円、管理費の「給与手当等」に6,404,000円計上している。

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

9. 正味財産増減計算書に関する注記

管理費の「事業費への事務費振替額」250,178,523円は、間接部門で発生した事務費のうち、事業費に按分する金額であり、当該按分額は事業費の「その他事業費」に計上されている。
なお、その内訳は次のとおりである。

実施事業等会計	182,815,721円
その他会計	67,362,802円
合計	250,178,523円

10. 資産除去債務に関する注記

当法人は、不動産賃貸借契約に基づき、退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識している。
なお、資産除去債務の負債計上に代えて、不動産賃貸借契約に関する敷金及び保証金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によっている。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	摘 要	金 額	
I 流動資産			946,880,734
現金及び預貯金		117,932,902	
	普通預金	1,043,909,669	
	みずほ銀行	7,057,265	
	三井住友銀行	1,031,384,184	
	三菱UFJ銀行	93,706	
	各支部	5,374,514	
	定期預金	539,656,800	
	みずほ銀行	50,083,800	
	三井住友銀行	489,573,000	
	当座預金	109,812,855	
	みずほ銀行	109,812,855	
	郵便貯金	1,848,900	
	固定資産（基本財産、特定資産）への振替額	△ 1,577,295,322	
	基本財産	△ 226,049,615	
	運営強化等積立資産	△ 1,209,030,107	
	退職給付積立資産	△ 142,215,600	
未 収 金		787,911,367	
	経済産業省補助収益	153,772,188	
	経済産業省受託収益	305,713,546	
	環境省受託収益	250,018,142	
	その他受託収益	39,114,114	
	講習・講座受講料	1,651,799	
	その他未収金	37,641,578	
未 収 利 息		1,492,106	
未 売 商 製 仕			
	図書販売代金	6,319,770	
	PR用品	2,019,600	
	図書	5,296,019	
	雑誌製作費	3,397,625	
	次年度プロジェクト対応事業費	4,570,988	
貯 蔵 品		228,442	
	郵便切手・はがき等	182,042	
	収入印紙	46,400	
前 払 金		17,711,915	
	試験会場費他		
II 固定資産			2,467,624,132
(1)基本財産		475,000,000	
投資有価証券		248,950,385	
	公債等		
	日本高速道路債	99,880,514	
	国債	49,801,110	
	地方公共団体金融機構債	99,268,761	
定期預金		226,049,615	
	三井住友銀行		
(2)特定資産		1,931,104,814	
運営強化等積立資産	1,788,889,214		
退職給付積立資産	142,215,600		
(3)その他の固定資産		61,519,318	
造 作	事務所間仕切他	5,058,241	
什 器 備 品	パソコン他	454,564	
機 械 装 置	L A N用通信設備他	1,624,230	
ソ フ ト ウ ェ ア	システムソフト類	9	
電 話 加 入 権		2,841,592	
保 証 金	事務所借室保証金他	50,740,036	
長 期 前 払 費 用		800,646	
資 産 合 計			3,414,504,866

(単位：円)

目		負債の部		金額	
I 流動負債				768,882,016	
短期借入金	借入先：三井住友銀行	500,000,000		500,000,000	
未払金				178,959,836	
	補助事業	11,151,598			
	受託事業	50,470,519			
	試験・講習事業	22,913,581			
	出版事業	6,232,790			
	教育事業	1,027,994			
	普及事業	2,222			
	その他事業費	1,770,381			
	管理費	47,937,844			
	旅費・謝金	37,452,907			
会費前受金	令和6年度賛助会費			58,299,010	
前受金	雑誌年間購読料、講座受講料等			12,672,570	
預り金				8,491,913	
	源泉所得税	6,223,574			
	社会保険料	77,639			
	住民税	1,924,700			
	その他	266,000			
賞与引当金				10,458,687	
II 固定負債				142,215,600	
退職給付引当金				142,215,600	
負債合計				911,097,616	
差引：正味財産				2,503,407,250	

注)財産目録は、任意に作成したことから、公益会計基準(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)の様式に準拠していない。

独立監査人の監査報告書

令和6年5月24日

一般財団法人省エネルギーセンター
会長 藤 洋作 殿

大串公認会計士事務所

東京都中央区
公認会計士

大串 卓矢 

公認会計士岡田育大事務所

東京都港区
公認会計士

岡田 育大 

監査意見

私たちは、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第124条第2項第1号の規定に基づく監査に準じて、一般財団法人省エネルギーセンターの令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の貸借対照表、損益計算書（公益法人会計基準に基づく「正味財産増減計算書」をいう。）及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における会計及び業務について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

1 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、決算関係書類及び会計監査人が作成した会計監査報告を精査し、関係書類の正確性を確認しました。
- (2) 業務監査について、理事会その他の会議への出席や関係書類の閲覧等によって、業務執行の妥当性を確認しました。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録は、当財団の収支及び財産の状況を正確に示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、当財団の事業の状況を正確に示しているものと認めます。

令和6年5月27日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事

長谷川 裕夫



監事

齋藤 弘明



監査報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における公益目的支出計画実施報告書について監査した結果を、次のとおり報告します。

記

公益目的支出計画の実施状況について、関係書類の閲覧や事業報告の聴取等によって確認しました。その結果、公益目的支出計画実施報告書は、当財団の公益目的支出計画の実施状況を正確に示しているものと認めます。

令和6年5月27日

一般財団法人 省エネルギーセンター

監事 長谷川 裕夫 

監事 齋藤 弘明 